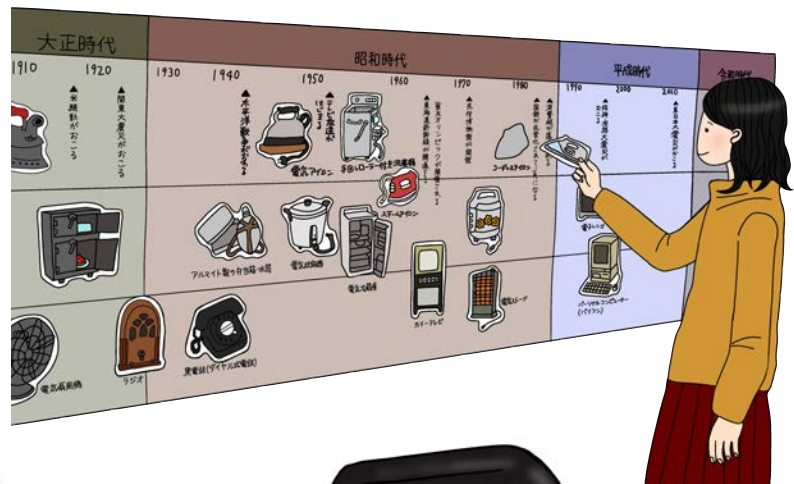




令和3年3月3日
再開館しました

奈良県立民俗博物館・大和民俗公園 まるごと活用ガイド 2021 —小学校の先生方へ—



みんなの感染症対策

- ・博物館および古民家には手指消毒液、博物館エントランスには検温機器を設置しています。
- ・定期的に消毒・清掃・換気を行っています。
- ・スタッフは検温・健康状態の確認を行い、マスクを着用しています。手袋やフェイスシールドを使用する場合があります。
- ・さわることのできる展示やサービスを休止しています。
- ・学校の団体見学は原則事前予約制とし、時間の調整を行っています。





新しくなった博物館で“本物”に出会う！



約1年間の耐震補強工事を終え、令和3年3月3日から展示室(本館)を再開館しました。常設展示では、4つのエリアに分けておもに明治時代から昭和30年代頃まで実際に使われていた**本物の道具**を紹介しています。特に、「昔の暮らし」は展示スペースや点数も増え、**子どもの勉強道具**や**おも**

ちゃ、様々な**あかりの変遷**を紹介するコーナーも新設。暮らしと道具の移り変わりが一目でわかる2つの**年表パネル**も加わりました。エントランスホールには、**鉄道や市町村の変遷**を通して奈良の歴史をたどる大型パネルも。より明るく、見やすくなった展示室をぜひご活用ください！

1 | 多角的な展示テーマと配置

これまでの「米づくり」「茶業」「林業」「昔の暮らし」を「**農村の四季**」「**川と人のかかわり**」「**地域のものづくり**」「**昔の暮らし**」の4エリアに再構成しました。より広い角度から、奈良の暮らしと其中で使われてきた生活用具の数々をご紹介します。また、展示物との間の柵をできる限り減らすことで、**本物ならではの質感とスケール**をより間近でご覧いただけるようになりました。調査をもとに造られた精巧なジオラマと再現展示も必見！



2 | わかりやすい、見やすい解説

展示物が見やすいように、グレーを基調とした展示台を配置。**パネルとキャプションも刷新**し、日本の伝統色をイメージした落ち着いた色合いで統一。年表や地図などの**ビジュアル資料**をまじえ、小学4年生以上の難しい漢字や専門用語には**読み仮名**をふりました。

また、調光可能なLEDライトにより展示室内全体が明るくなりました。さらに、展示パネルのタイトル部分は、日本語だけでなく**英語・中国語・韓国語**での表記も併記。より様々な国の方にも楽しんでいただけるように工夫しています。



3 | 好みに合わせて選べる見学コース

常設展示はどこから観ても楽しめる**自由動線**です。また、解説は各テーマごとの概要がわかる大型のメインパネルと、より踏み込んだ解説や豆知識をまとめたサブパネルで構成されているので、興味やスケジュールに合わせて組み合わせることができます。また、奈良全体のことだけでなく、**地域の特徴と歴史**にも着目した展示は学校教育での「教材」としての活用も自由自在。子どもさん向けの**新ワークシート**も準備中です。季節に合わせた企画展示やミニ展示にも今後ご期待ください。



4 | 多様なニーズに対応できる設備

これまでの「ビデオ学習室」が「**多目的室**」に替わり、多様な使用方法が可能に。体験スペースとしてマグネット式の「道具の移り変わり年表」も設置。階段を使わずにアクセスできるので、ワークショップ等の際にも**車椅子やベビーカーのままご利用**いただけるようになりました。さらに、来館者用トイレをウォシュレット付きの**洋式**に改修しました。多目的トイレにはベビーシートもあるのでおむつ替えにもお使いください。**救護室**はバックヤードにあります。





江戸時代にタイムスリップ！古民家探検へ出発♪



見学時間に合わせて、古民家でかまどに火を入れてお湯を沸かしておくことができます。**本物のかまど**で薪が燃える音や香り、火の温もりを感じてみましょう。おもに火入れをおこなう「旧臼井家住宅」には**昔の手洗い場や井戸、煙出しの窓**も。園内には他にも県内各地から移築された**個性豊かな古民家**が建ち並んでいます。それぞれを見くらべながら公園の散策や里山での自然観察なども楽しめます。公園は1周2.1 kmです。



※かまどの火入れの見学可能時間は、午前9時頃～11時半頃(11時から消火)です。
※日程によってはご希望に沿えない場合があります。予約・打ち合わせの際にご相談ください。



教材を組み合わせると、もっと楽しく！わかりやすく！

「**古民家たんけんブック**」は、クイズ感覚で昔のくらしを学びながら古民家それぞれの見どころにふれられ、校外学習のしおりとドッキングしたり、学習計画に合わせてアレンジしてご使用いただけます。(A5/フルカラー/両面/ふりがな有り) **園内マップ**も付いているので、公園・古民家を活用したオリエンテーリングやレクリエーションなどにもぴったりです。

「**どこでもみんぱく**」は、民俗博物館のホームページで2020年の秋から無料・無期限で公開している**デジタルコンテンツ**です。おもに小学3年生の学習に登場する昔の道具をテーマ別に紹介し、**予習復習**にも活用いただけます。



※新常設展の内容に合わせた教材は夏頃の公開を目処に製作中です。
※「古民家たんけんブック」の所要時間は**平均30分～1時間**を想定しています。
※教材に掲載しているイラストや写真は自由にお使いください。
民俗博物館の**ホームページでダウンロード可能**ですので拡大印刷にも便利です。



屋外でのびのび過ごそう！

公園には**芝生広場**や**里山エリア**などもあるので、大人数でもレジャーシートを広げてお弁当を食べたり、外遊びや自然観察、オリエンテーリングなどをすることができます。また1～2月は梅、3月～4月は桜、5～6月は花しょうぶやアジサイ、秋は紅葉を楽しむこともできます。

ただし、大勢で雨宿りできる場所はありませんのでご注意ください。



- ◎芝生広場… 多目的広場：利用可能人数 200名程度
- 町屋集落付近： // 50名程度
- 国中集落付近： // 100名程度
- 児童広場： // 300人程度 ※利用可能人数は目安です。
- ◎屋根付き休憩所… 5ヶ所
- ◎駐車場（無料）…乗用車147台、バス5台、身障者用3台
- ◎お手洗い… 5ヶ所（洋式あり3ヶ所：一般駐車場・博物館・国中集落付近）
- ◎自動販売機… 2ヶ所（一般駐車場・博物館前）



“本物”の道具を学校で活用しよう！

みんぱくの資料は、見るだけでなく実際に“使う”ことができるものも多くあります。中でも、1年生の国語の教科書でもおなじみの『たぬきの糸車』に登場する「糸車」や「綿くり器」は人気のある体験用資料で、毎年複数の小学校へ貸出をおこなっています。また、ご希望に応じて博物館での使い方レクチャーもおこなっています。

2020年度は、コロナの影響で団体見学を中止される代わりに道具の貸出へのニーズも多様化し、教材として古民家で昔の道具を体験する映像を撮影されたり、みんぱくのデジタルコンテンツ「どこでもみんぱく」に掲載している道具の解説や写真などを活用して、学校でミニ展示を開催される学校もありました。



写真提供(左)/
斑鳩町立斑鳩西小学校

◎小学校への貸出例

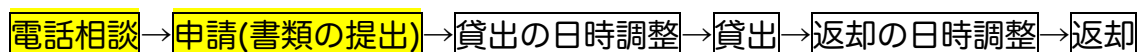
糸車／綿くり器／羽釜／飯ふご／飯かご／炭火アイロン／火のし／蓑／笠／雪ぐつ／枕
黒電話※実用不可／手燭／七輪／回転ごたつ／戦争資料など

※他にも様々な資料の貸出を行っておりますので、まずはお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

◎活用例

- [1年生・図工] わらの蓑や笠を参考に「笠地藏」の製作を行う。
- [1年生・国語] 『たぬきの糸車』の学習で実物の糸車にふれる、糸作りについて学ぶ。
- [3年生・社会] 実物を見ながら昔の道具の移り変わりや使い方を学ぶ。
オリジナルの教材を作る。学校でミニ展示を行う。
- [5年生・総合] 防空頭巾や赤紙(レプリカ)などの戦争資料を通して平和学習の予習を行う。

◎貸出申請から返却までの流れ



申請書類見本

民俗資料貸出申請書

申請年月日

学校の住所・学校の名称

学校長名・学校の印鑑

貸出を希望する道具の名前・数

※記入例

[目的] ○学年○○科「○○○○」の学習のため

[使用場所] ○年生の教室

[期間] 令和○年○月○日(○)～○月○日(○)まで

[輸送方法] 自家用車

[担当責任者] ○年生担任 ○○○○

※注意※

- 申請書のフォームは博物館HPでダウンロードできます。
- 申請から貸出までの目安は約2週間です。
- 貸出期間の目安は約2週間です。
- 貸出状況によってはご希望に沿えない場合があります。
- 梱包に必要な資材は博物館でご用意します。
- 運搬用の車は学校でご用意ください。



見学プランを考えてみる！

みんなくの活用方法は、アイデア次第で自由自在です。しかし、今年は常設展のレイアウト変更や感染症対策の問題もあり、なかなかプランを組み立てにくいと思います。そこで、博物館を活用した授業を組み立てるための目安と行程の例を挙げました。計画の参考にご活用ください。

まずは昔の暮らしにふれてみよう！「さくっと60分コース」※移動時間は含みません

- 2クラス以下である
- 1時間以内の滞在を希望する
- 半日は別の施設へ行く
- 教材は使わない or スケッチなど簡単なワークを行う
- 学芸員の解説は希望しない

①古民家(白井家) 教材 古民家たんけんブック

かまどの火入れ・井戸・手洗いの見学 **30分** ※学芸員の解説可(5分～15分程度で調整できます)

②博物館

常設展「昔の暮らし」見学 **30分** 教材 スケッチ+メモ

体感・体験を堪能しよう！「じっくり100分コース」※移動時間は含みません

- 3クラス以上である
- 2時間以上の滞在を希望する
- 一日滞在する
- 教材を使う or テーマを設定したワークを行う
- 学芸員の解説を希望する

①古民家(白井家) 教材 古民家たんけんブック

かまどの火入れ・井戸・手洗いの見学 **30分** ※学芸員の解説可(5分～15分程度で調整できます)

②博物館

常設展「昔の暮らし」見学 **40分** 教材 ワークシート →多目的室で昔の道具体験&スケッチ **30分**



体験！体感！昔の道具にさわってみよう 事前予約制

感染症対策の観点から、2021年3月現在は昔の道具にふれられる「体験コーナー」をお休みしています。その代わりに、ご希望に合わせて多目的室を使って実物の道具にふれていただくことができます。「昔の道具体験おたすけシート」もご用意しています。

また、同スペースにはマグネット式の「道具の移り変わり年表」も新設し、対話形式・クイズ形式などで楽しみながら道具の移り変わりを学ぶことができるようになっています。

◎館内での貸出が可能な資料(さわれる資料) ※「おたすけシート」があるもの

【衣】 火のし・炭火アイロン・綿くり器・糸車 **【食】** 飯かご・飯ふご・羽釜・七輪

【住】 手燭・回転ごたつ・黒電話・電気扇風機

※学芸員による解説は原則行っていませんのでご了承ください。

※道具を実際に使用することはできません。



★「どこでもみんなく」で「道具の移り変わり年表」の紙版をダウンロードできます。
みんなくのホームページからご覧ください。



見学・貸出に関するお問い合わせ：奈良県立民俗博物館 学芸課 みぞべ ちゃたに (溝辺・茶谷)

TEL：0743-53-3171 / FAX：0743-53-3173

近隣施設のご案内



下記のリストは、来館された小学校の先生方へのアンケートをもとに、これまで当館と組み合わせて見学された例のある場所をピックアップしたものを中心にご紹介しています。

見学プランのご検討の際に活用いただけると幸いです。

※ご利用にかかる料金やご利用条件などにつきましては、各施設へ直接お問い合わせください。

公共施設・寺院など

消防署（大和郡山市・奈良市など）／郡山警察署（大和郡山市）／奈良県警 第二庁舎（奈良市）
奈良県庁（奈良市）／奈良公園（奈良市）／奈良県中央卸売市場（大和郡山市）
矢田寺、慈光院、松尾寺（大和郡山市） など

ミュージアム・工場見学など

大和ハウスミュージアム（奈良市）…住宅や建築に関わる技術の進化と展示
奈良市防災センター（奈良市）…防災知識と体験学習
シャープミュージアム（天理市）…ものづくりの技術と発展
橿原市立こども科学館（橿原市）…遊びながら学べる科学
郡山金魚資料館 やまと錦魚園（大和郡山市）…金魚養殖の歴史と文化
箱本館「紺屋」（大和郡山市）…藍染めの歴史と工程
県営福祉パーク（田原本町）…公共施設や住宅、福祉・介護に関する展示と体験
高山製菓（生駒市）…あられの製造
高山竹林園（生駒市）…茶筌の歴史と製造
墨運堂（奈良市）…墨の歴史と製造
エビス株式会社（大和郡山市）…歯ブラシの製造 など



要事前予約

大和郡山市立 里山の駅 風とんぼ（野外活動センター）
【電話：0743-53-7290／F A X：0743-53-7203】



■充実の体験プログラム♪

焼き板づくり／万華鏡づくり／勾玉づくり／アスレチック／ボルダリング／ピザづくり など

■雨の日も安心！お昼場所にも◎

食堂（約 120 名）、レクホール（約 150 名）、ロッジ等に分散すれば最大約 350 名がご利用できます。

（例）大和郡山市内の小学生とその引率者：77 円（一人／日帰り）
市外の小学生とその引率者：176 円（一人／日帰り）

※ご利用に関する詳細は、風とんぼへ直接お問い合わせください。
料金や空き状況はホームページでも公開されています。

<http://kazetonbo.com/>





やまとみんぞく公園の古民家

みどころガイド!

園内には、奈良県内の各地から移築された9軒15棟の江戸時代の民家が建っています。地域の気候や時代、住む人の暮らし・職業によって、家の形や屋根・壁などに使っている素材、部屋の数や並び方も違います。それぞれ古民家を見比べてみましょう。わたしたちが住んでいる家と、どんなところが違うのでしょうか？置いてある道具にも注目！



町屋集落

①旧臼井家住宅 (高取町)

酒や醤油を製造・販売していました。入口にかけられた杉玉は新酒ができたことを知らせる看板の役割。中庭には井戸、廊下の先には手洗い、2階建ての蔵などもあります。

②旧鹿沼家住宅 (大和高田市)

代々米屋を営んでいた家。のれんよりも手前が店、奥が住居としての空間。瓦葺きの屋根にはかまどの煙を外へ出すための「煙出し」があり、その上に取り付けられている小さな屋根が特徴です。横から見るとよくわかります。

国中集落

③旧吉川家住宅 (橿原市)

農家の特徴をよく表している民家で、かつては長屋門とその脇に納屋・米蔵・離座敷などの建物が母屋を囲むように建てられていました。流しの近くには、精米や餅つきなどに使われた「唐臼」があります。

④旧萩原家住宅 (桜井市)

「入母屋造り」という形の茅葺き屋根をした農家。雨や陽ざしを防ぐための庇には瓦も使われています。隅には、「厨子二階」と呼ばれる物置用の中二階があった、牛馬を飼育するための馬屋があります。

宇陀・東山集落

⑤旧八重川家住宅 (山辺郡都祁村 ※現・奈良市)

代々農業を営んでいた家。天井裏に「すのこ」を敷いて土が盛ってあるのは、火事が起こった時に天井が燃えるのを防ぐためです。また、かまどの上にあたる部分には煙を外へ出すための穴があげられていて、周りは土で固められて煙突のようになっています。

⑥旧岩本家住宅 (宇陀郡室生村 ※現・宇陀市)

平地に比べて雪が多い地域の民家。大きな屋根が特徴。2階は絹糸を作るためにカイコを育てるのにも使用。かまどの周りには流しや唐臼、戸棚があります。かまどの上には煙を流して魚などを燻製にする時に使う「ペンケイ」(吉野地方では「ホテ」など)と呼ばれるワラづとが吊されています。

⑦旧松井家住宅 (宇陀郡室生村 ※現・宇陀市)

「ひろしき」と呼ばれる板敷きの場所は現在の台所にあたり、食事もここでとられていました。すのこを敷いた床は、夏の暑い時期に風通しを良くする役割があります。

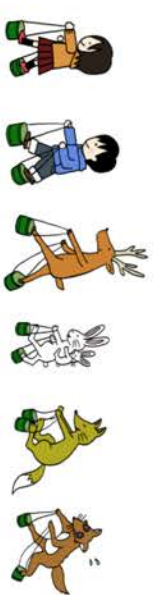
よしのしゅうらく 吉野集落

⑧旧木村家住宅 (吉野郡十津川村)

杉の木の皮で覆って石をのせた屋根はこの地域ならではの特徴のひとつ。強い雨風にも負けないように、屋根には雨よけの板も取り付けられています。母屋の向かいにある納屋は、中が牛小屋と手洗いに分かれています。調理は囲炉裏でおこなわれていました。

⑨旧前坊家住宅 (吉野町吉野山)

吉野山にある金峯山寺の門前町の家。お参りする人を泊める宿の役割もありました。渡廊下でつながったユニークな形をしています。山の斜面に沿って建てる「吉野建て」という方法です。



きゆうすいけじゆうたく
①旧臼井家住宅



きゆうかぬまけじゆうたく
②旧鹿沼家住宅



きゆうよしかわけじゆうたく
③旧吉川家住宅



きゆうはぎわらけじゆうたく
④旧萩原家住宅



きゆうやえかわけじゆうたく
⑤旧八重川家住宅



きゆういわちとけじゆうたく
⑥旧岩本家住宅



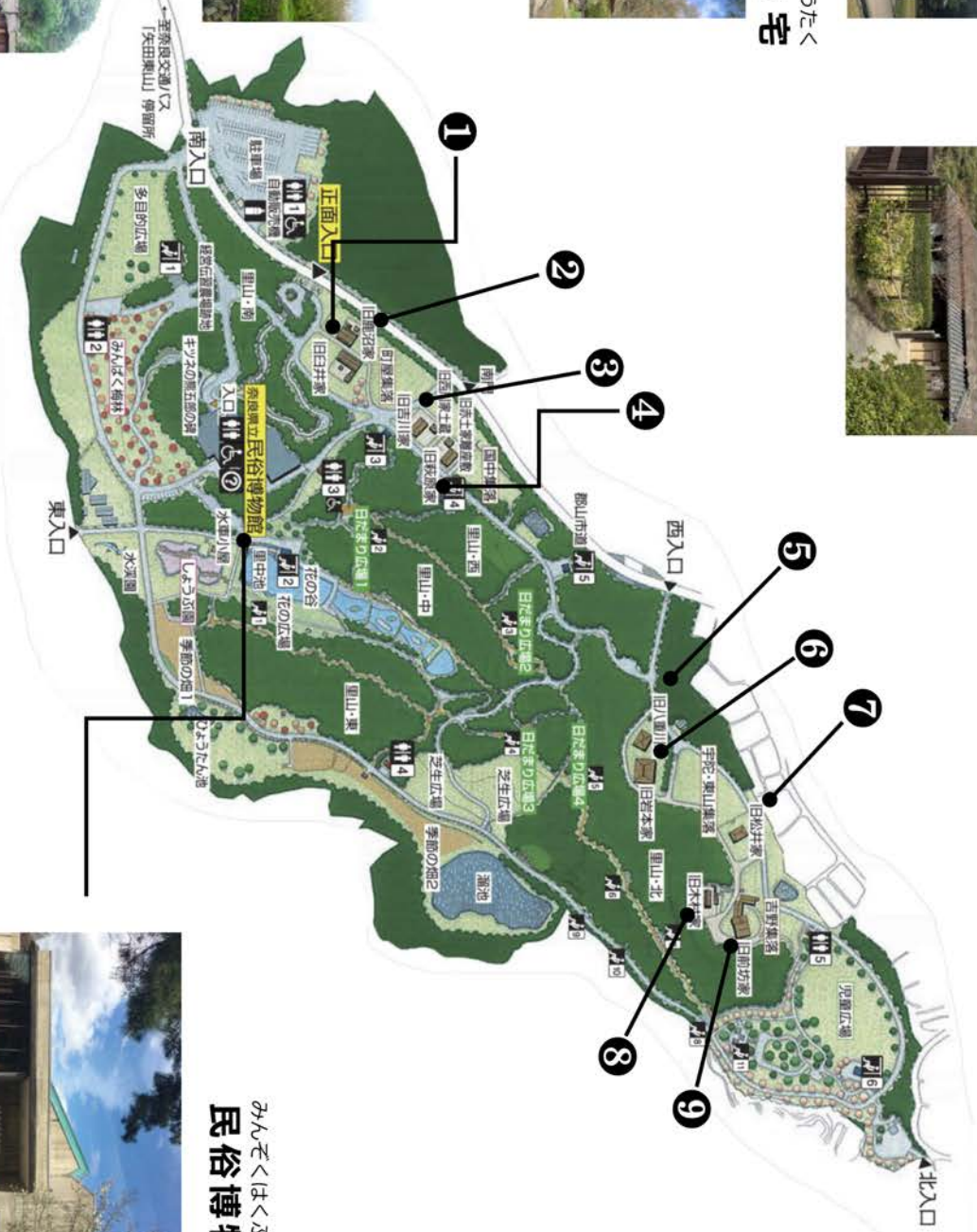
きゆうまついけじゆうたく
⑦旧松井家住宅



きゆうきむらけじゆうたく
⑧旧木村家住宅



きゆうまえぼけじゆうたく
⑨旧前坊家住宅



みんぞくはくぶつかん
民俗博物館

